

中学校
3年

命のトランジットビザ

高槻市立第六中学校

教科

道徳

単元名

命のトランジットビザ

単元でつきたい力

(教科等でつきたい力)

- ・国際社会の一員として世界平和や人類の発展や幸福に貢献しようとする心を養う。
- ・杉原千畝の心の動きを通して、人種を超えた生命の大切さについて多面的・多角的に考える。

(学校図書館等の活用でつきたい力)

- ・必要な情報を図書館資料から集め、自分の考えの根拠となるものを読み取る。
- ・選んだ図書館資料を使い、自分の考えをまとめ、伝えるように書き表す。

本単元で育む主な情報活用能力

A-STEP4, C-STEP4
F-STEP4, G-STEP4

該当番号の詳細内容は

「大阪府情報活用能力

ステップシート」から確認できます。



単元における学習の展開 (全1時間) (学校図書館等を活用した時間に☆印)

第1次 (1時間)	○教材「命のトランジットビザ」を読み、考える。(☆) (本時) ・杉原氏がビザ発給に踏み切った思いを杉原氏が述べた言葉やそれまでの経緯について図書資料やタブレット端末で調べ、考える。
--------------	--

本時のねらい

- ・国際的視野に立ち、人類愛について理解を深め、世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする心情や態度を育てる。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点
導入 (5分)	1. 教材の時代背景について確認する。 ・社会科ですでに学習した第二次世界大戦当時の国際情勢、ユダヤ人迫害について確認する。	
展開 (42分)	2. 教材「命のトランジットビザ」を読み、考える。 ・発問「ビザの発給を決断する前日、杉原氏はどんなことを考えていたのだろうか。」について考える。 ・杉原氏の言動を図書館資料やタブレット端末で調べ、杉原氏がビザ発給の決断に至った思いを考える。 ・個人→班で交流→発表 3. 世界平和について考える。 ・発問「人間として正しいことを行い、世界平和に力を尽くすためには何が大切だろう。」について自分の考えを書く。	・杉原氏がどんな思いでビザを発給したのか、杉原氏がビザ発給に至った経緯や後に述べた言葉について図書資料やタブレット端末で調べる。 ・杉原千畝の伝記、杉原千畝の名言が掲載されている本を多数準備し、注目ポイントや杉原氏のことが掲載されているページにふせんを付けて提供する。 ・図書資料の中から、人間の命の大切さを優先させた杉原の決断が人種や民族を超えた人類愛であることに気づかせられるように資料の見方や探し方を指導する。
まとめ (3分)	4. ふりかえりと戦後の杉原氏についての説明を聞き、ふりかえりをする。 ・道徳ノートにふりかえりを記入する。	・参考情報をもとに戦後の杉原氏について話す。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・杉原氏の言動をタブレット端末のみで調べると、膨大な量のインターネットの情報から必要なものを探し出すのは困難であるという生徒の声があった。それに対して本は、杉原氏の生い立ちを簡潔にまとめている伝記や偉人の名言を集めた本などがあり、写真やイラストで視覚的にもわかりやすくまとめられていた。限られた時間内で、杉原氏がビザ発給に至った経緯や述べた言葉について調べる場合に、本は適していた。特に、タブレット端末のキーワード検索でどんな言葉を入力するべきか迷っていた生徒には、図書は有効であった。
- ・図書館資料で杉原氏の生い立ちをイラストやマンガなどで簡潔にまとめている伝記は、生徒が短時間で杉原氏という人物について理解することに役立った。

授業で使った本の例

- 「世界を変えた人たち 365」 田島信元 永岡書店
 「命のビザ、遙かなる旅路—杉原千畝を陰で支えた日本人たち」 北出明 交通新聞社
 「日本と世界を結んだ偉人 大正・昭和編—ビジュアル伝記」 河合敦 PHP 研究所
 「杉原千畝と命のビザ：自由への道」 ケンモチツキ 汐文社
 「10分で読める命と平和につくした人の伝記」 塩谷京子 Gakken
 「きみを変える50の名言」 佐久間博 汐文社 など

